

第2号様式（第11条関係）

意見公募手続(パブリックコメント)に対する意見等の概要及び検討結果

- 1 案件名：第2次鹿屋市自転車活用推進計画（案）
- 2 意見の募集期間：令和6年1月17日～2月16日（30日間）
- 3 意見提出者： 1人
- 4 意見数： 1件

〈検討結果区分〉

A：策定案に反映できるもの	件
B：既に盛り込み済みのもの	件
C：今後の参考となるもの	件
D：反映できないもの	件
E：その他感想や質問など	1件
計	1件

番号	意見等の概要	検討結果の区分	意見等に対する検討結果
1	クラウドファンディングにより、マンホールの蓋を変える費用を作る。矢印は、まずデザインを公募する。見やすい進入看板を小学校一年生に好きに描いてもらい、コンテストにかける。それを賞金だったり、図書券なり出す。（賞品でもいい）将来“マグネットバイク”（仮）免許証が小学校一年生から交付できるようになる。マグネットは磁石で走るバイク。かつて本田京一郎さんが自転車にエンジンを取り付けていたが、それを磁石をつけようと考えるところです。磁石の反発してもいいし、電気、ガソリン、冷氣、熱気、蒸気、風力、火力、原子力、太陽光エネルギーを用いてもいいし、単どく(独)の磁石のみでもいい。もちろん、自転車のみとしても走れるヘルメットやプロテクターをコンテストにかけて公募する。仮装パーティーとバイクのコラボも検討したい所で、市債を発行するために“自転車債”（仮）を採用する。健康は、ゲーム大会を開いてみる。“バイクチャレンジゲーム（仮）”ゲームというより障害物競争みたいなもので賞金（クラウドファンディングで募る）賞品でもいいし、図書券でもいい。また、坂をマウンテンバイクが登れるよう丸みを付ける。また、安全基準に合格するのであれば、世界にひとつの部品を小学校の生徒、中学校、高校、大学生とそれぞれコンテストを開催して、私の自転車、そして未来の自転車を作ってみようコンテストでもいいし、図案のみでもいい。用はやってみることだ。賞品は、ウナギーヶ月	E	御意見として承り、参考とさせていただきます。

<p>分、90食でもいいし、クラウドファンディングで募集する。自転車の賞品が無いが、いいですか？と問題にして解いてみるといい。また、足が届くような自転車が欲しい。(女性の身長が高い人でも乗れるとは限らない。)普通自転車というと一人乗りだが、10人に乗せられる自転車を作ってみるのも面白い。“馬車×自転車”(仮)といった所か？バスの変わりの車と考えてみるのも面白い。デザインは公募。人力車もAIにやらせてみるのも手。その際、公募。また、これはと思う図案なり、予算が環境面で揃えつつあれば、予算を投入してみる。そう簡単には出来ないかもしれないが、行事も楽しんでみるのが大事。日本は砂鉄の国、資源を大事に利用したいものである。</p> <p>(意見は原文を記載。)</p>		
---	--	--